【井関農機㈱：MXP シリーズ】のとも洗い手順書

（１）　取扱説明書に記載された通常の清掃を行い、①籾投入口（ホッパ）など外部に付着した異物、②機械内部の残留物を取り除いて下さい。

（２）　以下の①～⑧の手順に従って、籾を投入し、３分間の循環運転を行った後、玄米を排出して下さい。

① 当年産の籾を 50kg 用意します。

② 籾摺機の仕上米排出口に、とも洗いに使用して排出した玄米を廃棄するための紙袋をセットします。

● 廃棄用の紙袋を仕上米排出口にセットした様子

③ 通常どおり、籾をホッパに入れます。このとき、ホッパは 20～30kg ぐらいで満杯になるので、こぼれないように注意して入れて下さい。

● 籾を 30 kg程度投入した様子

④ 通常の籾摺り作業と同様に、電源を入れ、ロール間隙を調整して下さい。

なお、自動ロール間隙調整機能のある籾摺機の場合は、ロール間隙を調整する操作は不要です。

⑤ ホッパのシャッターを開けます。

その際、仕上レバーを「良（一番上）」の位置に合わせてから、シャッターを開けて下さい。

● 仕上レバー

MXP400、MXP500

MXP250、MXP300、MXP350

● シャッタレバー

MXP400、MXP500

MXP250、MXP300、MXP350

⑥ ホッパの籾がなくなりそうになったら、残りの籾をホッパに足し入れ、**還元米の有無を確認しながら籾を投入**します。

お米が還元されたら、円筒ラセン底開閉レバーを**「取出」**の状態にしてください。円筒ラセン底開閉レバーを**「取出」**にすれば、循環状態になります。

合計 50 kg程度の籾を投入しますが、機械が小さい場合は10kg 程度余ります。

● 円筒ラセン底開閉レバー

MXP400、MXP500

MXP250、MXP300、MXP350

⑦ **３分間、循環運転**を行って下さい。

⑧ ３分間の循環運転の後、円筒ラセン底開閉レバーを「運転中」に、仕上レバーを「赤印」に切り換え、籾摺機内の玄米を全量排出して下さい。

なお、このとき玄米は、廃棄用の紙袋に排出し、選別・計量機に絶対投入しないで下さい。

● 円筒ラセン底開閉レバー

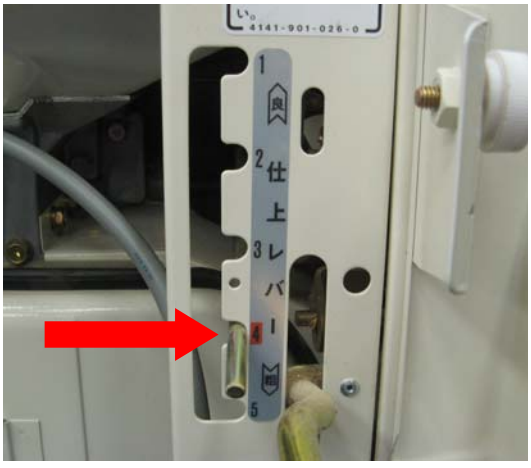
MXP400、MXP500

MXP250、MXP300、MXP350

● 仕上レバー

MXP400、MXP500

MXP250、MXP300、MXP350



（３）　「とも洗い」終了後に、再度バケットエレベータやくず米口の残留物を取り除いて下さい。

● バケットエレベータ下部の残留物

● くず米口の残留物

ロータリー式選別の場合は、ロータリー部分に玄米が残りやすいので、「とも洗い」後にロータリーを取り外して中の残留物を取り除いて下さい。

● ロータリー上部のカバーを外した様子

● ロータリーを引き出した様子

【お問い合わせ先】
井関農機　株式会社
技術ソリューションセンター
TEL:0297-58-1979(代表)／ FAX:0297-58-5444